

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

911

化学物質対策事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	4	自然と共生する環境にやさしい社会の形成
施策	1	環境の保全
取組方針	1	生活環境の保全

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務		法定受託事務	○
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	衛生費		
	項	環境保全費		
	目	環境保全政策費		
	大事業	環境保全対策事業		
	中事業	化学物質対策事業		

事業種別	継続		関連個別計画	和歌山市環境基本計画		
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	環境政策課	中西 克之 435-1114
事業実施の根拠法令	ダイオキシン類対策特別措置法		関連課			

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	<p>大気・水質汚染物質の監視及び実態調査や有害物質等の状況を把握し、環境保全に資する。</p> <p>ダイオキシン類対策特別措置法に基づき、工場・事業場の監視及び指導を行うとともに、大気、公共用水域、地下水及び土壌のダイオキシン類の常時監視を実施することにより生活環境の保全を図る。</p>		<p>大気については、一般環境2地点で年12回有害物質測定を実施(21項目)する。公共用水域河川については、環境基準点9地点で年4回の有害物質調査を実施する。</p> <p>環境中の常時監視として、大気環境調査5地点(一般環境4地点、発生源周辺1地点)、公共用水域21地点(河川11地点、海域10地点)、地下水4地点、土壌4地点でダイオキシン類調査を実施する。</p> <p>工場・事業場の監視として、排出ガス4検体、排水4検体でダイオキシン類調査を実施する。</p>			
事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	
	有害大気汚染物質の測定(21物質504検体)の実施	有害大気汚染物質の測定(21物質504検体)の実施	ダイオキシン類の測定を、大気環境調査5地点、公共用水域21地点、地下水4地点、土壌4地点、排出ガス4検体、排水4検体で実施	ダイオキシン類の測定を、大気環境調査5地点、公共用水域21地点、地下水4地点、土壌4地点、排出ガス4検体、排水4検体で実施	ダイオキシン類の測定を、大気環境調査5地点、公共用水域21地点、地下水4地点、土壌4地点、排出ガス4検体、排水4検体で実施	

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和02年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	11,084	10,135	11,081	9,774	11,081	9,705	10,057	0	0	0
伸び率(%)	0%	0%	0%	△3.6%	0%	△0.7%	△9.2%	△100%	△100%	0%
人件費	正規職員	5,246	5,246	4,627	3,350	3,597	7,513	9,191	0	9,191
	正規職員以外	0	0	0	0	989	0	0	0	0
	小計	5,246	5,246	4,627	3,350	4,586	7,513	9,191	0	9,191
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源(税等)	11,084	10,135	11,081	9,774	11,081	9,705	10,057	0	0	0
所要人数(人)	正規職員	0.66	0.66	0.58	0.42	0.45	0.94	1.15	0.00	1.15
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	検査分析委託料10,000千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
有害物質調査地点数	有害物質調査地点数	地点	目標値	11	11	11	11	11
			実績値	11	11	11	11	11
			達成度(%)	100%	100%	100%	100%	100%
ダイオキシン類の調査地点数	ダイオキシン類の調査地点数	地点	目標値	41	42	41	42	42
			実績値	41	42	41	42	42
			達成度(%)	100%	100%	100%	100%	100%
環境基準達成率	環境基準達成率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	100
			達成度(%)	100%	100%	100%	100%	100%
成果指標			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	法定受託事務であり、現在の測定の地点数で実態把握に努める。
見直し・改善内容	実績をもとに事業費を見直した。